

新日鉄による王子製鉄(株)の株式取得、持分法適用会社化について

新日鉄は、大同特殊鋼(株)の保有する王子製鉄(株)の発行済株式35.6%を取得することについて、大同特殊鋼と基本合意した。これまで、新日鉄は王子製鉄の株式を7.2%保有していたが、今回取得分と合わせた保有比率は42.8%となり、王子製鉄は新日鉄の持分法適用会社となる。

これは、平鋼業界ナンバーワンの普通鋼電炉メーカーである

王子製鉄と、新日鉄および新日鉄グループ会社との連携施策を推進することにより、平鋼業界における王子製鉄の経営基盤強化、ならびに両社の企業価値向上を狙いとしたもの。

お問い合わせ先
総務部広報センター
TEL 03-3275-5021 ~ 5023



王子製鉄 高山社長(左)と当社 増田副社長

中国で日中鉄鋼業環境保全・省エネルギー先進技術専門交流会を開催

9月27、28日、中国北京で日中の省エネルギー・環境に関する政策や技術に関するフォーラム・専門家交流会が開催された。政府関係者をはじめ、当社からは関澤副社長、青木執行役員や環境・エネルギーの専門家が、中国側からも鉄鋼関係者が多数出席した。

日本側からは産業界の自主行動計画、官民協力による中国への技術移転、現在取り組んでいるAPP(アジア太平洋パートナーシップ)の紹介に加え、日本

鉄鋼業の副生ガスや廃熱の回収、廃プラスチックや廃タイヤの有効利用推進、CO₂分離など、長期的な技術開発の必要性を訴えた。中国側からは、中国の鉄鋼生産と省エネルギー、汚染排出削減の現状や老朽設備の淘汰策に関する報告があった。

専門家交流会では、日本側が「石炭調湿、CDQ(コークス乾式消火設備)」、「転炉ガスの回収・利用技術」、「高炉・転炉の集塵技術」などの事例を、中国側が「高炉の乾式集塵技術」、

「環境自動観測システム」を報告し、熱心な質疑応答が行われた。



国際鉄鋼協会(IISI)年次総会を開催

10月8、9日、IISI(国際鉄鋼協会)の第41回年次総会がドイツのベルリンで開催された。世界各国の鉄鋼メーカーの首脳が一堂に会し、新日鉄からは三村社長が出席した。今回の最大のテーマは地球環境問題で、分科会やセッションでメンバーが活発な議論を展開した。

業界単位でCAP&TRADE制度(*)に反対するとともに、1tあたりのCO₂排出原単位を踏まえ、省エネルギーに関する共通の効率性指標を設定するセクターアプローチを採用することに世界で初めて合意した。また利用可能で効率的な省エネルギー

技術の適用を各国鉄鋼メーカーが検討・実施するとともに、長期にわたる革新的な技術開発に取り組んでいくことも改めて確認するなど、極めて大きな成果を得た。

また鉄鋼関係者に加え、自動車や電力業界のメンバーもセッションに参加し、鋼材の特性である高張力性やリサイクル性を高く評価し、業界を超えた共同研究や連携が必要であることが強調された。三村社長は8日午後のCEOパネルディスカッションに他の鉄鋼首脳と参加し、今後の鋼材需要や中国鉄鋼業に対する見解を述べた。次回

の年次総会は、2008年に米国のワシントンで開催される予定。

*CAP&TRADE制度:製鉄所などの事業所単位にCO₂の排出量の上限を定め、その余剰・不足分について取引する制度。



IISIのパネルディスカッションでの三村社長

豪州ウッドサイド社向け海底ガスパイプライン用鋼管を約 13 万 t 受注

新日鉄と三井物産(株)は、オーストラリア最大のエネルギー会社であるウッドサイド社開発のブルート液化天然ガス(LNG)プロジェクト向けのラインパイプ用鋼管約13万tを共同で全量受注した。内訳は大径溶接鋼管(UO鋼管)約12万t、電縫管(ERW鋼管)約1万tで、2007年末～2008年秋にかけて納入する。

クリーンエネルギーとされる天然ガスの需要が高まる中、オース

トラリアでは海底ガス田の開発が活発化しており、中でも大型ガス田が集積している北西大陸棚では、エネルギー各社が意欲的にLNG投資を企図している。同プロジェクトは、今後オーストラリアで開発されるプロジェクトの中で最初となる大型案件であり、北西大陸棚の沖合180kmのガス田から、陸上のLNG基地まで天然ガスを運ぶ海底パイプラインを敷設する。掘出される天然ガスにつ

いては、日本の電力・ガス会社が購入することが決まっており、日本のエネルギー調達に素材の立場から貢献することとなる。

海底パイプライン用鋼管は、仕様が非常に厳しいため、その供給は高い技術力を有する鋼管メーカーに限定されている。そうした中で、当社の海底用パイプラインの豊富な実績に裏付けられる高品質および安定デリバリーの信頼性に加え、海底用で

のUO鋼管とERW鋼管の品ぞろえがウッドサイド社に高く評価された。

当社は今後も、長年にわたり蓄積してきた技術先進性に基づく高いプレゼンスを活かし、オーストラリアをはじめとする世界の資源・エネルギー開発分野に貢献していく。

お問い合わせ先
総務部広報センター
TEL 03-3275-5021

ニッテツスーパーフレーム® 工法を採用した「イデアルコート鉄竜」が 2007年度グッドデザイン賞を受賞

新日鉄が独自開発した「ニッテツスーパーフレーム® 工法(以下、NSF工法)」を採用したタウンハウス「イデアルコート鉄竜」(デザイン・設計:矢作昌生建築設計事務所、事業主:新日本ホームズ(株)、福岡県北九州市)が、(財)日本産業デザイン振興会主催の「2007年度グッドデザイン賞(建築・環境デザイン部門)」を受賞した。

本物件が建設された土地は、八幡製鉄所穴生社宅(鉄竜)の跡地であり、同製鉄所は当地にNSF工法による初の本格的タウンハウスの建設を意図し、事業主である新日本ホームズに用

地を分譲した。新日本ホームズは「マンション価格で戸建住宅の独立性、広さ、快適さを提供する」というコンセプトでハイセンスなデザインのタウンハウス(長屋建23戸)を建設・竣工し、今回のグッドデザイン賞の受賞に結びつけた。

本物件の屋根・壁パネルは、八幡製鉄所の溶融亜鉛めっき鋼板を用いて工場製作され、現場の建築工期を短縮し、今回のコンセプトである「マンション価格での提供」の実現に大きく寄与した。また、外張り断熱工法であることから一般的な住宅と比較して断熱効果が高く、快適

で省エネルギーな住環境を実現した。

新日鉄は今後も、耐火性、遮

音性、温熱性、耐久性などにおいて優れた性能を発揮するNSF工法の普及を図っていく。



タウンハウス「イデアルコート鉄竜」外観

お問い合わせ先
総務部広報センター TEL 03-3275-5021,5022

(株)新日鉄都市開発の「コートデコ洗足レイクサイド」が 2007年度グッドデザイン賞を受賞

(株)新日鉄都市開発が開発した「コートデコ洗足レイクサイド」(設計・監理:HAN環境・建築設計事務所、施工:(株)竹中工務店、東京都大田区)が、(財)日本産業デザイン振興会主催の「2007年度グッドデザイン賞(建築・環境デザイン部門)」を受賞した。

本物件は、都内有数の環境を誇る洗足池に隣接する好立地に誕生したメゾネット型重層タウンハウス(長屋1棟16戸)の分

譲事業。自然の光・風・緑と共生した「パッシブデザイン」を取り入れることにより居心地の良い豊かな室内気候の創出を目指し、また緑地帯・ドライエリア・格子戸ポーチなどによって構成される「中間領域」を設け、風光熱をコントロールする環境装置として機能させている。これら自然エネルギーの利用に

より、各住戸のランニングコストの低減を可能にするなど環境保護の面でも有意義であり、環境に溶け込む優れたデザインは周辺へ波及し、街の風景の発展にも寄与している。



「コートデコ洗足レイクサイド」外観

お問い合わせ先
(株)新日鉄都市開発 住宅事業部 TEL 03-3276-8860

新日鉄ソリューションズ(株) 棚橋相談役が経済産業大臣表彰を受賞

新日鉄ソリューションズ(株) 相談役の棚橋康郎が、2007年度の情報化月間「情報化促進貢献個人表彰」(経済産業省、内閣府、総務省、財務省、文部科学省、国土交通省主催)を受賞した。同表彰は経済産業大臣表彰としてわが国の情報化促進に貢献した個人に贈られるもので、10月1日にANAインターコンチネンタルホテル東京で開

催された情報化月間記念式典の中で表彰式が行われた。

受賞理由は「(社)情報サービス産業協会会長をはじめ(社)経済団体連合会等各種団体の役員・委員を歴任し、情報サービス産業界の発展に尽力。また、産業構造審議会情報サービス・ソフトウェア小委員会委員として『情報システムの信頼性に関するガイドライン』や『情報

サービス・ソフトウェア産業維新』などの策定に大きく貢献」とされている。



受賞者を代表して甘利経済産業大臣に謝辞を述べる棚橋相談役

お問い合わせ先
新日鉄ソリューションズ(株) 総務部広報・IR室 TEL 03-5117-6080

「NS ハノイスチールサービス」が開業式を開催

10月17日、新日鉄と日鉄商事(株)のベトナムでの合弁コイルセンター「NSハノイスチールサービス」の開業式が盛大に執り行われた。式典には日系大手OA機器メーカーおよびその協力会社をはじめ、日系自動車メーカーなどが多数出席、また現地バクニン省政府のトップ、

服部日本国駐ベトナム大使が挨拶するなど内外からの非常に高い関心を集めた。

日鉄商事は2003年に同国南部ビンズン省に設立した「NSサイゴンコイルセンター」のほか、中国の3拠点(華南2、華東1)、タイで海外コイルセンターを整備しており、成長す

るアジアの生産拠点での鋼板供給体制の強化を着実に進めている。



建物外観

お問い合わせ先 総務部広報センター TEL 03-3275-5021 ~ 5023

新日本テクノカーボン(株) 2008年末に特殊炭素製品年産 8,000t 体制へ

新日鉄化学(株)グループの新日本テクノカーボン(株)は、本社・仙台工場において特殊炭素製品の生産ラインを新設し、年産能力を約2,000t増強することを決定した。投資額は約50億円で、2008年12月の稼働開始を予定している。

数年前より、特殊炭素製品の

世界市場は、300mmシリコンウェーハの生産本格化による半導体関連産業向けの需要拡大に加え、太陽電池向けの需要拡大などによって急速な成長を遂げてきた。今般の能力増強は、従来の需要に加え、航空宇宙分野、自動車用途、燃料電池用途といった新たな市場分野における

需要の拡大に対応するもので、2008年末を目途に年産8,000t体制を確立する。



今年7月に新設した焼成炉

お問い合わせ先
新日本テクノカーボン(株) 管理部 坂井・加藤 TEL 022-359-2611 (代)

紀尾井ホール (財)新日鉄文化財団

11月主催公演から

<http://www.kioi-hall.or.jp>

- 4日 シリーズ「歌」こころ響き合うとき VOL.10 (完売)
熱狂の浅草オペラ
出演：塩田美奈子 (Sop)、水船桂太郎 (Ten)、平野忠彦 (Bar)、山田武彦 (Pf) ほか
曲目：女心の歌、ハバナ、コロケーの唄 ほか
- 8日 いずみホール・紀尾井ホール作曲共同委嘱
アール・レスピラン第22回定期演奏会
特別出演：高関健 (指揮)、アール・レスピラン (管弦楽)
曲目：ヨハン・シュトラウスⅡ世 喜歌劇「こうもり」序曲、マラー「ピアノ四重奏曲 (断章)」、原田敬子 媒解 (作曲共同委嘱・委嘱作品) ほか
18:20 ~ プレ・コンサート・トーク：西村朗、原田敬子、池田哲美

- 23日 グレート・マスターズ VI
日本の音楽界をささえつづけるアーティストたち
出演：栗本尊子 (M-Sop)、小林健次 (Vn)、畑中良輔 (Bar) ほか
曲目：高田三郎「くちなし」、モーツァルト「ロンド」ハ長調 K.373、シューマン「献呈」ほか
- 25日 江戸音楽の巨匠たち〜その人生と名曲〜③
初世・四世十寸見河東、山彦源四郎 (河東節)【邦楽】
出演：竹内道敬、渡辺保 (対談)、山彦音枝子、山彦節子 (浄瑠璃)、山彦千子、山彦良波 (三味線)、河東節十寸見会 ほか
曲目：「海老」「松の内」「助六」

お問い合わせ・チケットのお申し込み先：紀尾井ホールチケットセンター TEL 03-3237-0061 (受付 10時~18時 日・祝休)